

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第1回朝霞第五小学校学校運営協議会	
開催日時	令和7年4月24日(木) 午前10時00分から午前11時10分まで	
開催場所	朝霞市立朝霞第五小学校 体育館3階 会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	正野寛樹 白鳥成章 菅原慎也 橋本太樹 蔵田ひと美 高野友則 田邊雅也 司会：猪狩一史 記録：尾崎真由美 ※【欠席】 田辺敏晃 飯倉昇明	
議題	(1) 学校教育目標及び学校経営方針等について (2) その他 ①年間行事予定について ②資料について	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 第1回学校運営協議会 次第 ・令和7年度 学校運営協議会委員 名簿 ・学級担任児童数一覧 ・令和7年度 年間行事計画 ・令和7年度 週時程 ・第五小だより（令和7年4月号） ・朝霞市学校運営協議会規則 ・学校運営協議会委員報酬等の支払いについて ・5月学校公開のご案内 	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 司会・記録による確認	
傍聴者の数	なし	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

《令和7年度第1回学校運営協議会》

1 開会の言葉（教頭）

2 会長あいさつ

正野：本日の議題は、学校教育目標及び学校経営方針、年間行事予定となっています。学校と地域の連携を踏まえたご意見を、どうぞよろしくお願いいたします。

3 校長あいさつ

校長：異動して参りました。前任校は朝霞第六小学校となります。前任の三好正浩校長の思いを引継ぎ、朝霞五小の児童の育成に取り組んで参ります。本日は、よろしくお願いいたします。

4 委員自己紹介

正野：それでは、本日の議事に移らせていただきます。この会議は原則公開するものとなりますが、委員の皆様には、ご賛同いただけますでしょうか。
(委員のうなずき)

正野：本日の会議は、委員11名のうち、半数以上の出席がありますので、朝霞市学校運営協議会規則第10条により、成立となります。

5 熟議

(1) 学校教育目標及び学校経営方針について

校長：この学校運営協議会委員の皆さんと共通理解をしっかりと、五小のために教育活動を盛り上げていきたい。具体的には、地域とのつながりを教育活動に取り入れていきたいと考えている。学区にあるラジオ局に興味があり、できれば児童の出演も考えていきたい。番組を作り、児童も職員も地域も一体となった活動ができないか。「誰かのため未来のために」という本校の教育方針にもつながるのではないか。

新学期が始まり、準備登校や始業式、入学式を無事終え、児童も職員も良いスタートを切ることができた。授業を見て回っていると、若手教員が構造的な板書の工夫を行っている場面も見られた。児童は、ドリル等でQRコードを使用し、主体的に授業に参加している。ぜひ家庭の学習へもつなげていきたい。先日の学級懇談会では、どのクラスも保護者の皆様の温かな様子を見ることができた。

YouTubeを五小のプラットフォームとし、校長のみに限らず、職員、PTAの方々が色々な発信をできるようにしていけたらどうかと考えている。学校経営方針の「けやき」の「き」である「究める力」を特に大事にしていきたい。これからの教育は社会総掛かりで、ウェルビーイングを求め、学校と地域、保護者が一体となった学校づくりを進めていく必要がある。生きる力が重要で、児童自身が自分の力で失敗も含めて、自己決定していくことが大事。

日本PTA連合会の動画には、学校が今、どう取り組んでいこうとしているのかが分かりやすく説明されている。

中教審はこれからの教育を寺子屋のようなものと捉えている。異学年集団や多

様性を特徴とし、明治～平成の教育の良さを残しつつ、より良いものに融合しながら江戸時代へ戻るイメージをしていただくとよいかと思う。教科書を飛び出した学びを学校教育活動で展開していきたい

先日は、校内研修の顧問指導、十文字学園女子大学の児玉先生を訪問し、今年度の国語の研修の方向性についてご指導いただくことができた。児童の書きたい気持ちを大切にしていくためには、地域にヒントがたくさんあるということに気付けた。地域の協力として考えられることはたくさんあり、現在活動していただいている絵本パママの皆さんに、国語の学習に関する本を集めて紹介してもらったり、五小鳴子の皆さんに3年生の運動会の鳴子練習に参加していただいたりするなど、地域の良さや地域の力を積極的に借りていきたい。3年生の総合では、探究学習のテーマに朝霞市のよさこいがいいのではという話も出ている。国語のお礼の手紙などでは、相手意識の明確化ということで、給食調理員さんだけでなく、関係業者の方々へ向けてなど広げていくと、書きたいという気持ちがより強くなっていくのではないか。PTAの方と行っているあいさつ運動にも地域の色々な方に来てもらい、一緒に行くことで教育活動を盛り上げていけないか。連携していく窓口として、必ず管理職を通すのではなく、学年・クラス単位で連携していけるような関係が理想。そのために地域を教材にする試行錯誤を行っていく。まずは、6年生のラジオ局の活用、3年生のよさこいの探究学習、ひまわり学級の地元農園と連携した野菜栽培から取り掛かり始めていきたい。

職員にデータ配布済み「学校経営方針」

【質疑・応答】

正野：学校経営方針について前年度と変更となっている点は。

校長：「自分から」の文言を付けたし、探究を目指していくところを大事にしていきたい。

正野：学校経営方針、重点目標は職員にどの程度浸透しているか。または、浸透させているのか。

校長：なかなか浸透していかない実態がある。繰り返し伝えていきたい。

正野：承認は毎年行うが、年度末に検証等はしたことがない。年度末の検証項目と学校経営方針、重点目標が照らし合っていないので、判断が難しい。

できればもっと職員に浸透させてもらいたい。そのためには、これだけはというものに絞ってみてはどうか。1年間実施し、年度末に振り返りたい。

校長：具体的な体験が実現できれば、より浸透していくと思う。

白鳥：同じく運営協議会で承認するということは、年度末評価に反映させていきたい。項目立てできないか。

菅原：校長先生のお考えを支えていきたい。

橋本：担任レベルまで持っていけるとよりいい。

高野：五小鳴子については、3年生以外も、学校の中で踊る機会があってもいいのでは。

教頭：踊りたい子はたくさんいる。

校長：子どもからそういった希望が出るとさらにいい。それには、担任の持って行き方が重要になってくる。

高野：「究める」ということについて、「探究」という言葉がとてもよいと思う。

(2)その他

① 年間行事予定について (主幹)

② 資料について (教頭)

【質疑応答】

菅原：五小まつりはまだ予定に記載しないでほしい。校外学習の日程は、まだ決まらないのか。

教頭：まだ決まっていない学年もある。決まり次第、記載する。

正野：心肺蘇生は力を入れてほしい。事故が非常に多い。エピペン研修はあるのか。

教頭：4月初めに実施している。児童のランドセルのポケットに入れておく。

ロッカー枠にテープを貼り、誰でもすぐ分かるようにしている。

校長：管理職がいない場合でも、迷わず救急車を呼ぶよう指示している。

6 諸連絡 (教頭)

- ・ 次回の開催日について

7 閉会の言葉 (教頭)

終了 午前11時10分